

和田溜・堤溜(上・下)・岩の入溜(上・下) ため池ハザードマップ



和田溜
総貯水量：4,000m³、堤高：3.0m
堤溜(上)
総貯水量：2,200m³、堤高：2.0m
堤溜(下)
総貯水量：2,000m³、堤高：3.0m
岩の入溜(上)
総貯水量：2,000m³、堤高：3.0m
岩の入溜(下)
総貯水量：5,000m³、堤高：3.0m



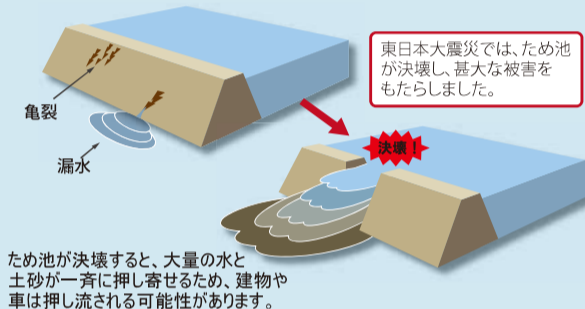
栃木市
マスコット
キャラクター
とち介

問い合わせ先：産業振興部 農林整備課
TEL：0282-21-2387

ため池ハザードマップは、大雨や地震でため池が決壊した場合の被害を最小限にすることを目的として、被害が想定される区域や避難場所、避難経路などを地図に表したものです。ため池の水が流れ出す状況をシミュレーションし、時々刻々と流れ込む水の最大浸水深、歩行困難度を示しています。

◆ため池決壊の要因

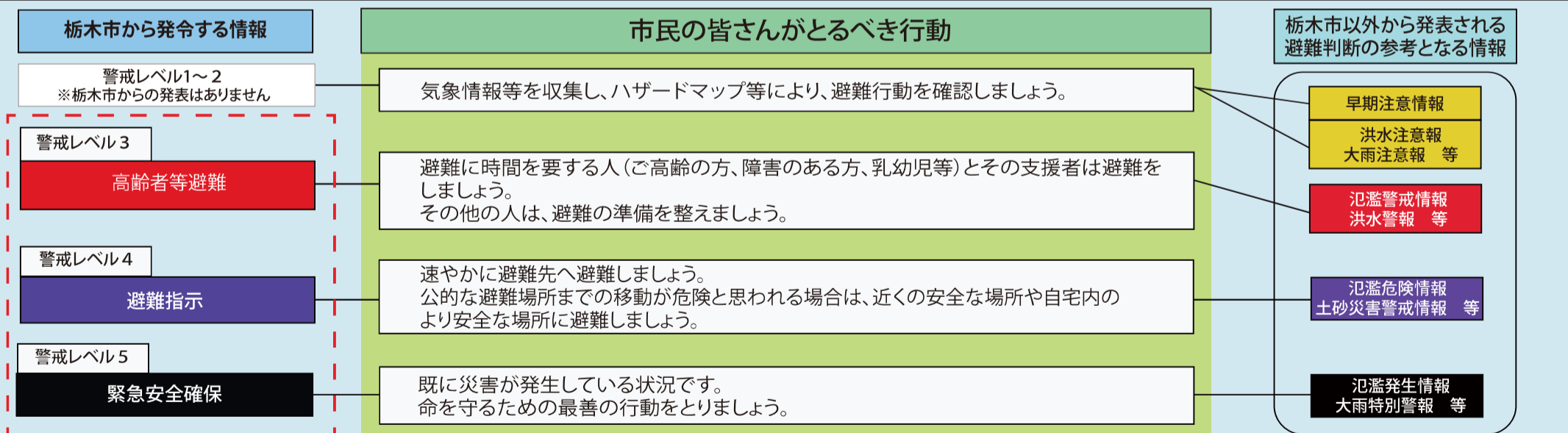
大雨や大地震が発生すると、ため池の堤防に亀裂や漏水が発生し、決壊する場合があります。また、大地震直後に決壊しなくても、余震で決壊することもあり得るので注意が必要です。



避難に関する情報

- ・台風や集中豪雨時は、テレビやラジオ、インターネット等により気象情報や避難情報を入手し、早めに避難することを心がけましょう。
- ・市の指定避難所のほか、安全な場所にある親戚・知人宅等も避難先として検討しましょう。
- ・避難する時は、家族・親戚・知人等に連絡しましょう。また、必要に応じて、安否等の情報を音声で録音・再生できる「災害用伝言ダイヤル」を活用しましょう。
- ・避難する時の非常持ち出し品は必要最低限にし、動きやすい服装で避難しましょう。
- ・浸水や土砂崩れが発生している場所では、水路が見えなくなっている場合がありますので、気をつけて避難しましょう。
- ・夜間や道路が冠水している場合は、避難場所へ移動することで被災する場合がありますので、無理をせず、自宅の2階等に避難しましょう。

避難情報を収集し、行動してください!



高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保は、栃木市公式ホームページの他、屋外スピーカー、広報車、消防署・消防団から発表されます。速やかに指示に従ってください。

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。

氏名					電話		
住所					メール		
避難場所	家族が離ればなれになった時の避難場所						
家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ		
緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ		

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは? NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-XXXX-XX-XXXX (被災地の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-XXXX-XX-XXXX (被災地の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話

非常時持ち出し品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

携帯ラジオ	救急医薬品	非常食品
<input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 手指消毒液	火を通さずに食べられるもの、食器等 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> カンパン <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> アルファ米 <input type="checkbox"/> 栓抜き <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> 粉ミルク
懐中電灯	その他	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(出来れば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着など) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う) <input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 <input type="checkbox"/> リュックサック(かばん) ※これらの入れ物

皆様へのお願い

避難中・避難後に、ため池や河川氾濫・土砂崩れ等を発見した場合は、関係先に情報の提供をお願いします。

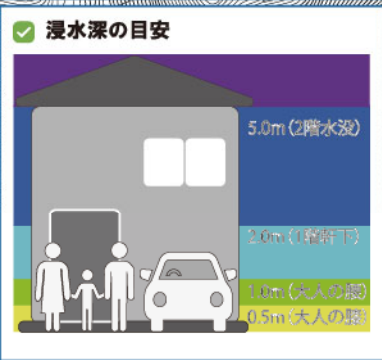
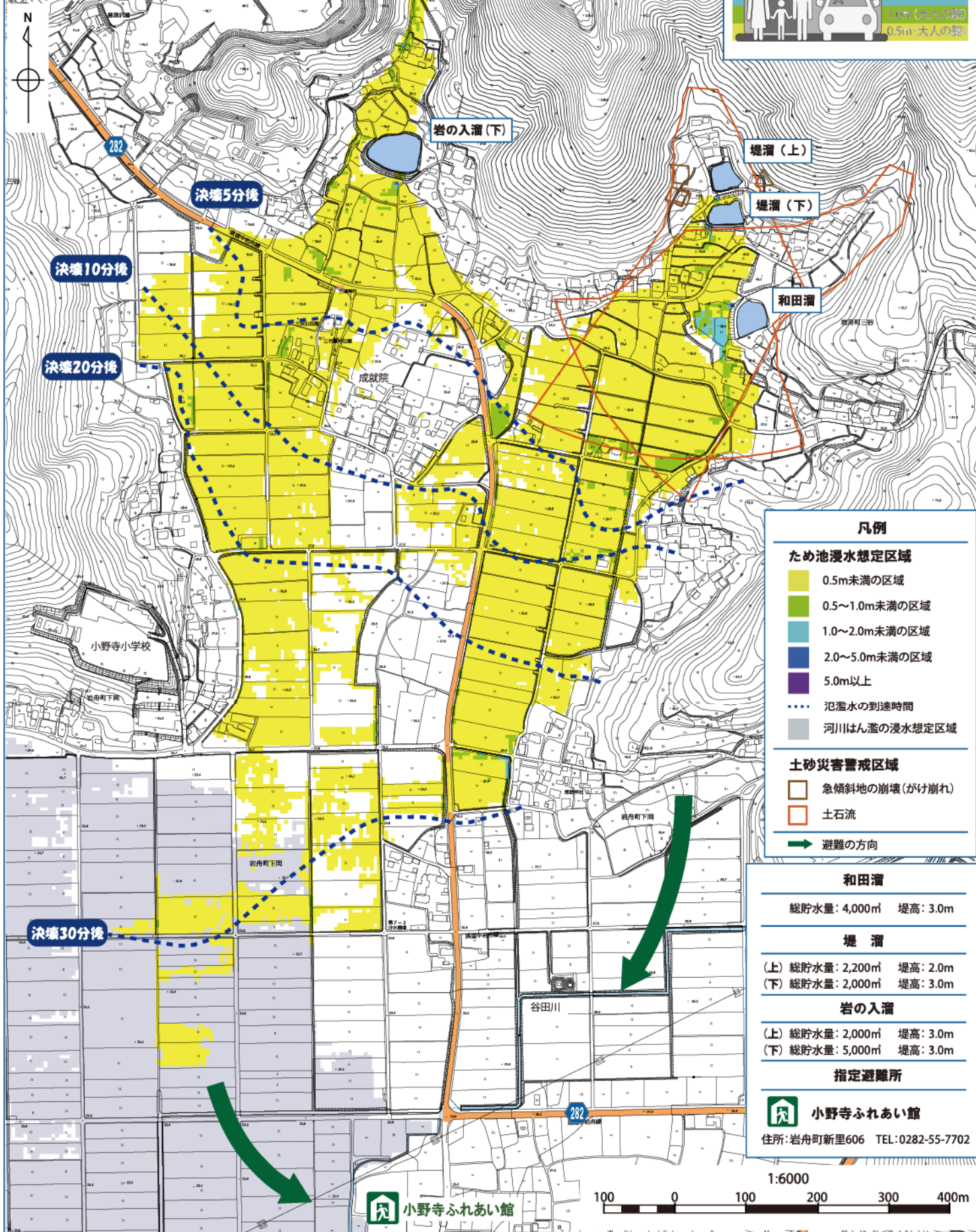
ため池に関する情報 : 産業振興部農林整備課 TEL:0282-21-2387

河川氾濫・土砂崩れ等に関する情報: 総合政策部危機管理課 TEL:0282-21-2551



和田溜・堤溜（上・下）・岩の入溜（上・下） 最大浸水深のマップ

浸水想定区域は、ため池が決壊したときの浸水範囲や浸水深等をシミュレーションにて表示したものであり、浸水想定区域外においても被害が発生する場合があります。万一に備えて日頃からこの地図を活用し、避難所や避難方法について確認しておきましょう。



- 凡例**
- ため池浸水想定区域**
- 0.5m未満の区域
 - 0.5~1.0m未満の区域
 - 1.0~2.0m未満の区域
 - 2.0~5.0m未満の区域
 - 5.0m以上
 - 氾濫水の到達時間
 - 河川はん濫の浸水想定区域
- 土砂災害警戒区域**
- 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
 - 土石流
 - 避難の方向

和田溜
総貯水量: 4,000m³ 堤高: 3.0m

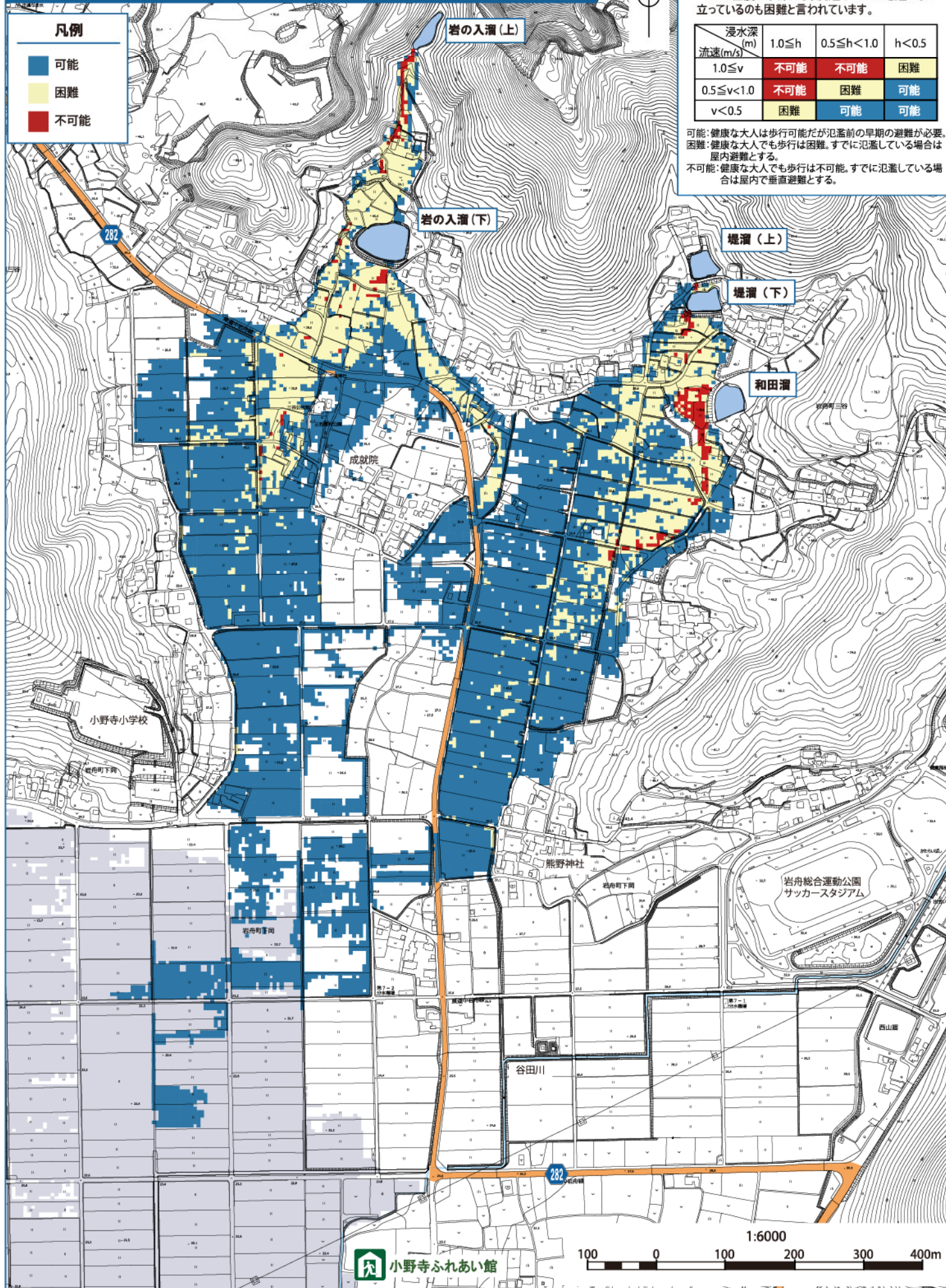
堤溜
(上) 総貯水量: 2,200m³ 堤高: 2.0m
(下) 総貯水量: 2,000m³ 堤高: 3.0m

岩の入溜
(上) 総貯水量: 2,000m³ 堤高: 3.0m
(下) 総貯水量: 5,000m³ 堤高: 3.0m

指定避難所
小野寺ふれあい館
住所: 岩舟町新里606 TEL: 0282-55-7702

和田溜・堤溜（上・下）・岩の入溜（上・下） 歩行困難度のマップ

歩行困難度
水深が深くなるほど、また水の流れが速くなるほど歩くのが困難になります。50cm程度の水深でも、流速が1.0m/sを超えると立っているのも困難と言われています。



- 凡例**
- 可能
 - 困難
 - 不可能

流速(m/s)	浸水深(m)		
	1.0 ≤ h	0.5 ≤ h < 1.0	h < 0.5
1.0 ≤ v	不可能	不可能	困難
0.5 ≤ v < 1.0	不可能	困難	可能
v < 0.5	困難	可能	可能

可能: 健康な大人は歩行可能だが氾濫前の早期の避難が必要
困難: 健康な大人でも歩行は困難。すでに氾濫している場合は屋内避難とする
不可能: 健康な大人でも歩行は不可能。すでに氾濫している場合は屋内で垂直避難とする。